

### 宮坂建設工業が植樹活動

## 地球環境への負荷を軽減

役員ら50人参加し帯広の森で

【帯広発】宮坂建設工業(株) (帯広、宮坂寿文社長)は十日、帯広市内の「帯広の森」でアカエゾマツやトドマツなど二百本の植樹を行った。同社オフィス部門内の役員や現業部門の役員約五十人が参加。晴天の中で環境への負荷軽減活動を展開した写真。



員が中心となって実施した。植樹開始に先立ち、同社

同社では、地球環境への負荷軽減活動として今回の植樹を計画。月一回程度で実施しているノーカーデーや各現場での地域貢献活動や環境対策への取組に合わせ、主に管理部門の役員

の高道伸常務があいさつ。

「CO2削減のために、ノーカーデーなどを実施しているが、現場だけではなく、管理部門で何ができるかを考えてきた」と計画の経緯を説明。「当社では約二百四十畝の山を所有しているが、台風が過ぎたことや傾斜地であることも踏まえて、今回、帯広の森に植樹させてもらう。来年以降は、除草などを行い大きく育てていきたい」と話した。

このあと、参加者は二人一組のグループになり、約一千平方畝内にアカエゾマツ、トドマツ、ミズナラ、イタヤカエデなどの苗木二百本を植樹した。